

131学生大会開催決定!

12時

2.4 教育スト

御堂筋でも起る!

はじめに

67年、佐藤訪米において、アジア侵略、人民抑圧、民族解放
斗争正統の基地として、「重要な」意義を沖縄がもっているこ
ことを確認した。日本共同声明に反対する斗争を経る過程で、
沖縄の復帰運動は、単なる民族運動ではなく、明確にベトナム
反戦運動と結合したところの斗いへと、質的転換を遂げた。

こうした中で、昨年二月以降常駐している黒い殺人機B2の
動きが、全島で展開され、二月四日には、不法な軍事
占領を続ける米軍、及び、それを容認している本土政府に対し
て、「B2を即時撤去せよ! 一切の核兵器を撤去せよ! 即
時無条件全面祖国復帰!」をスローガンに、全島でストで
立ちあがろうとしている。これに対して、米軍当局は、県民の
政治活動を一挙禁止する、強圧的な、右翼維持法である「総合
防衛指令」を公布した。だが、「命を守る県民共斗会議」は「新防衛指令回
紙撤回!」もスローガンに入れ、断固ストで斗うことを宣言している。
八沖縄の斗いを孤立させるな!

こうした沖縄の斗いにもかかわらず、本土での反戦運動はこれまでに積極的
なものに届きつつある。本土における、民主的と言われる政変も、真なるベ
トナム人民支援、沖縄県民支援というものは傍観的な立場しか取れず、
さうやく沖縄問題を取り入れられるようになった。6・15、10・21斗争にあ
いこも、単なる反権力斗争に解消された傾向がある。このように、本土にお
ける反戦運動不在の中で、我々革新グループは、一貫して、沖縄のもつ重要
性を指摘しつづけてきた。そして今、え・4沖縄ストという歴史的斗
いがおこされることになる。この斗いを孤立させずに、断固斗おうで
はならない。

え・4学生大会を成功させる。え・4を教育ストライキで斗おう!

日中の生活より、絶えず脅かされている沖縄県民が、2・4ストを断
固斗おうとしている時、又、統帥部竹首が、沖縄県民と連帯して斗う決意を
御堂筋でもあらわすとしている時、我々学生が、試験斗争に投入してい
るべきなのだが、沖縄県民を孤立させない為にも、本土での斗いが必要と
されている。市大においても最大限のとりくみを行うことは固明の責である
一つ。え・4学生、県民を支援、沖縄の基地、核基地撤去、沖縄自治を求め
る竹首竹首、え・4市大入士で斗おう。

すべての学友は明日の学生大会に結集
し、スト権を確立せよ!

明日全学学生大会

12時より、専内講堂

革新グループ